

教科	商業	科目	プログラミング	単位数	小学科・学年	教科書
				3単位	情報処理科・3年	最新プログラミング (実教出版)
副教材	学習と検定 全商情報処理検定テキスト1級 プログラミング部門 (実教出版)					
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンピュータを使ったデータ処理の仕組みについて理解させる。 ・ プログラミングに関する知識と技術を習得させる。 ・ 体験的学習を通して創造力や論理的な思考力を育成する。 ・ ビジネスの諸活動において、情報を合理的に処理しコンピュータを効果的に活用する能力と態度を育む。 					

評価の規準・観点			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
ビジネスの諸活動と情報処理システムの関りについて関心をもち、データ処理の仕組みや役割の重要性について学習に自ら進んで取り組もうとする。	ビジネスの諸活動における情報活用の重要性について様々な角度から考察し、合理的な情報処理システムを考え判断しようとする。	ビジネスの諸活動における情報や処理システムの意義について思考を深め、ビジネスを効率的にス効できる情報処理システムを判断しようとする。	ビジネスの諸活動における情報処理システムの意義や役割について、基礎的・基本的な知識を身に付けている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ レポート、ノート、宿題等の提出状況 ・ 授業における態度、意欲 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小テスト、確認テスト ・ 問題集 ・ 課題テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・ パソコンの操作 ・ 流れ図の作成 ・ プログラムの作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期試験 ・ 小テスト、確認テスト ・ 課題テスト
評価の方法	授業における態度、意欲、出欠状況、機械実習の取組、課題の提出、確認テスト、定期試験等を上記の4観点に基づいて総合的に評価する。		

学習の内容 (特色を含む)			
月	第1章 コンピュータとプログラミング	月	
4	第1節 ビジネスと情報処理システム	10	<ul style="list-style-type: none"> ・ 配列を利用について学習します。 ・ 配列を利用したプログラミング技法と、配列の有用性について学習します。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・ ビジネスの諸活動と情報処理システムの関わりと、データ処理の仕組みや役割について学習します。 ・ Java 言語の特徴とデータ処理に必要な一連のプログラム手順を学習します。 <p style="text-align: center;">中間試験</p>	11	<ul style="list-style-type: none"> ・ プログラムの実行中にエラーが発生した際に適切な処理を行うための技法について学習します。
6	第2節 プログラミング基礎	12	第4節 Java の活用
7	<ul style="list-style-type: none"> ・ Java プログラムの基礎的・基本的な技法を身につけるとともに、ビジネスの諸活動におけるプログラミングの意義について学習します。 ・ プログラミングに必要なハードウェアの操作技術について学習します。 ・ 応用的なプログラミング技法について学習します。 ・ 条件分岐や繰り返し処理の技法について学習します。 <p style="text-align: center;">期末試験</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文字列を処理するための技法、静止画、動画、音声などを処理するための技法を学習します。
9	第3節 プログラミング応用	2	第5節 ハードウェア・ソフトウェア
	<ul style="list-style-type: none"> ・ メソッドを利用する意義について理解するとともに、関数を利用するための技法を学習します。 <p style="text-align: center;">学年末試験</p>	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンピュータの利用にあたって必要な、ハードウェア・ソフトウェアに関する知識を学習します。

担当者からのメッセージ及び特色
1 授業 企業で、システムを作成するときに必要な知識です。しっかりと学習してください。
2 家庭では 用語やコンピュータの命令文など、見慣れない初めての言葉ばかりが出てきます。毎日必ず予習・復習をしてください。
3 補習 試験前には希望者があれば実施します。
4 その他 情報処理検定試験1級プログラミング部門を1月に受験します。
5 特色 実社会で求められている、プログラミング的思考について学習します。